

ハウレンソウケナガコナダニ

Tyrophagus similis Volgin



ハウレンソウの被害



成虫

発生生態

ハウレンソウを加害するコナダニ類の中で、最も問題となっています。府内でもハウス栽培を中心に広く被害が確認されています。発生適温は20℃前後のため、春作と秋作に被害が大きくなります。ハウレンソウの4葉期頃までに土中から植物体に移動し加害します。加害を受けた葉は、こぶ状の突起が生じ、商品価値が著しく低下します。

防除対策

未熟有機物により増殖するので、十分に腐熟させてから施用することが重要です。また、前作の残渣や間引き株も増殖源となるので、ほ場外に持ち出すよう心掛けましょう。散布剤による防除は、薬液が十分な量がかかるよう植物体が小さい段階で散布することが重要です。